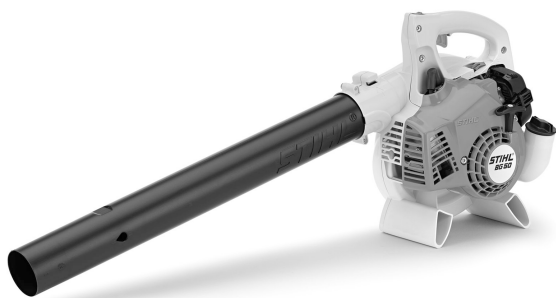


BG 50

STIHL



2 - 15 取扱説明書



目次

1	はじめに.....	2
2	使用上の注意および作業方法.....	2
3	ブロワーマシンの組み立て.....	6
4	燃料.....	7
5	給油.....	7
6	エンジンの始動と停止.....	8
7	エアフィルター掃除.....	10
8	キャブレターの調整.....	10
9	スパークプラグ.....	12
10	エンジンの動作.....	13
11	機械の保管.....	13
12	整備表.....	13
13	主要構成部品.....	14
14	技術仕様.....	14
15	整備と修理.....	15
16	廃棄.....	15

1 はじめに

1.1 シンボルマークについて

機械に表示されているシンボルマークの意味は、本取扱説明書に説明されています。

対象の機種によっては、以下のシンボルマークが機械に表示されている場合があります。



燃料タンク、ガソリンとエンジンオイルの混合燃料



手動燃料パージャーパープの操作

1.2 段落の前に付いたシンボルや文字



警告

人に及ぼす事故やケガ、更に重大な物的損傷に対する警告。

注記

本機本体あるいは構成部位の損傷に対する警告。

1.3 技術改良

当社の信条として、常に自社製品の改良を心がけております。この理由から、製品の設計、技術、外観が定期的に改良される場合があります。

このため、変更、修正、改良の種類によっては、本取扱説明書に記載されていない場合があります。

2 使用上の注意および作業方法



パワーツールを使用して作業する際には、特別な安全対策が必要となります。



初めてご使用になる前に、必ず全ての取扱説明書をよく読んで理解し、必要な時に見られるように安全な場所に確実に保管してください。取扱説明書を遵守しないと生命を脅かすような怪我を負う可能性があります。

同業組合、社会保険組合、労働安全衛生当局など、現地の安全規制を遵守してください。

初めて本機で作業する場合：サービス店または経験豊富なユーザーに機械の操作方法についての説明を受けるが、その専門的な研修に参加してください。

未成年者は本機を使用しないでください。ただし、16歳以上の未成年者が監督下で訓練を受けている場合にはこの限りではありません。

作業場所に子供、動物、見物人を近づけないでください。

本機を使用しないときはスイッチを切って、他人に危険が及ばないようにする必要があります。本機が無断で使用されないように、安全に保管してください。

他者およびその所有物に対して生じた事故または危険に関しては、その一切の責任をユーザーが負うものとします。

本機は、本モデルとその取扱いに精通している人にも譲渡または貸与し、取扱説明書を必ず一緒に手渡してください。

一部の国では、騒音が発生するパワーツールの使用が地方自治体の条例によって制限されている可能性があります。各国の規制を遵守してください。

本機の清掃に高圧洗浄機を使用しないでください。強力な水の噴流が、本機の部品を損傷する恐れがあります。

2.1 アクセサリーとスペアパーツ

STIHL が本機での使用を承認したパーツやアクセサリ、または技術的に同等のパーツのみを装着してください。これに関してご不明な点がございましたら、サービス店にお問い合わせください。高品質の部品およびアクセサリのみを使用してください。これを怠ると事故および本機の損傷につながるおそれがあります。

当社では STIHL 純正部品およびアクセサリのご使用をお勧めしています。これらは、お客様の

製品およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

安全性が損なわれる可能性がありますので、いかなる方法でも機械を改造しようとししないでください。STIHLは、承認されていないアタッチメントを使用した際の人的傷害および物的損害に対しては一切保証を行いません。

2.2 身体適性

本機で作業をする者は、十分に休息をとり、心身ともに健康で良好な状態でなければなりません。健康上の理由で無理ができない人は、パワーツールを使った作業が可能であるかどうか、かかりつけの医師に相談してください。

ペースメーカーを付けている方のみ該当する
注意点：本パワーツールのイグニッションシステムでは、微量の電磁界が発生します。ペースメーカーの種類によっては、影響が及ぶ可能性を完全に否定することはできません。健康上のリスクを軽減するため、STIHLでは、かかりつけの医師またはペースメーカーの製造元に問い合わせることをお勧めしています。

アルコールや反射神経速度を鈍らせる可能性のある薬品あるいは薬物を服用した状態では、機械を操作しないでください。

2.3 正しい使用方法

ブローワーを使用すれば、落ち葉、草、紙などを庭園、スタジアム、駐車場や車寄せなどから取り除くことができます。山林の散策路に落ちている葉などを吹き飛ばす作業にも適しています。

本パワーツールをこれ以外の目的には使用しないでください－**事故の危険があります！**

本機は-10℃未満の温度では使用・保管しないでください－極端な寒さにさらされると、機器の部品が損傷する可能性があります。

2.4 個人用保護具

規定に沿った衣服と装備を身に付けてください。



衣服は、使用目的に適した作業の妨げにならないものでなければなりません。作業用のコートではなく、身体にびったりしたコンビスーツの作業服を着用してください。

衣服、スカーフ、ネクタイ、装身具のうち、吸気口に吸い込まれる可能性のあるものは着用しないでください。長い髪はまとめて、肩より上になるように固定します。

靴底が滑らず、頑強な作りの靴を履いてください。



警告



目の負傷の危険性を低減するため、EN 166 基準に準拠したしっかりとフィットする保護メガネを着用してください。保護メガネが正しくフィットしていることを確認してください。

「自分専用」のイヤーマフ（聴覚保護具など）を着用してください。

2.5 機器の運搬

必ずエンジンを停止してください。

車両での運搬時：

- － 適切に固定して、機器の転倒、破損、燃料漏れを防止してください

2.6 給油



ガソリンは非常に引火しやすい物質です－火気のそばに置かないでください－燃料をこぼさないでください－喫煙しないでください。

給油前にエンジンを停止してください。

エンジンがまだ熱いうちは給油しないでください－燃料が流れ出て、火災を起こす危険があります！

燃料タンクキャップは、過剰な圧力が徐々に抜けて、燃料が噴き出さないように、慎重に開けてください。

給油は風通しの良い場所で行ってください。燃料がこぼれた場合は機器を直ちに清掃してください－衣服に付いた場合は直ちに着替えてください。



漏れていないか注意してください！漏れている場合はエンジンを始動しないでください－火傷による命の危険があります！



給油後は、燃料タンクキャップを出来る限りしっかりと締め付けてください。

これにより、エンジンの振動により燃料タンクキャップが外れ、燃料が漏れ出すリスクを低減することができます。

2.7 始動前

機械が操作安全性を確保できる状態であることを確認します－本取扱説明書の関連項目を参照してください－

- － 燃料システムに漏れがないか点検します。特に燃料タンクキャップ、ホース接続部、手動燃料ポンプ（手動燃料ポンプ付きのパワーツールの場合のみ）などの目に見える部品を特に注意深く点検します。漏れや損傷がある場合は、工

エンジンを始動しないでください - **火災の危険があります！** 使用を開始する前に、機械の修理点検をサービス店に依頼してください。

- スロットルトリガーがスムーズに動き、自動的にアイドル位置に戻らなければなりません
- 停止スイッチがスムーズに 0 にセットできるようになっている必要があります
- スパークプラグターミナルがしっかりと差し込まれているかチェックします - 緩んでいる場合は火花が発生することがあり、燃料と空気の混合物に引火する可能性があります - **火災の危険があります！**
- ファンホイールとブロワーハウジングの状態を点検してください - 「用途」を参照してください
- ブロワーハウジングに摩耗（亀裂、欠け）があると、異物が流出して怪我をするおそれがあります
- ファンホイールまたはブロワーハウジングが損傷している場合は、専門業者までご来店ください - STIHL では STIHL サービス店をお勧めしています
- 操作部や安全装置に改造を加えないでください

本機は、操作の安全性が確保されている状態でのみ操作することができます - **事故が生じる恐れがあります！**

2.8 エンジンの始動

給油場所から 3 m 以上離れている場所で、また密閉空間以外で行ってください。

本機は必ず一人で操作してください - 他の作業員が作業エリアに立ち入ることは始動時も禁じられています。

エンジンの「落としがけ」はしないでください - 取扱説明書に従って始動してください。

必ず平らな場所に置いてください。しっかりとした安全な足場を確保し、本機をしっかりと保持してください。

エンジンが始動した後は、気流の増大によって異物（石など）が飛散する可能性があります。

2.9 作業中



ブロワーを他の人物や動物に向けることは、絶対に控えてください。小さな物体が高速で飛散する可能性があります。怪我をする危険があります！

危険が迫った場合や緊急時は停止スイッチを 0 に動かして、エンジンを直ちに停止してください。



作業員以外、半径 15 m 以内に立ち入ることは禁じられています - 飛散物によってケガをする危険があります！

作動させたままの状態、絶対に本機から離れないでください。

滑りやすい場所、濡れた地面、雪、氷、傾斜や凸凹のある地面などに注意してください - **スリップする危険があります！**

ごみ、木の切り株、根、溝などに注意してください - **つまづく危険があります！**

はしの上や不安定な場所では作業しないでください。

イヤープロテクター（張力保護具）を装着している場合は、より高い注意力が必要です - 危険を告げる音（叫び声、警笛など）が聞こえにくくなります。

疲労が蓄積しないように、適切な時期に休息をとってください - **事故の恐れがあります！**

日中、十分な視界のある場所で、冷静かつ思慮深く作業してください。他人に危険が及ばないように慎重に作業します。

ブロワーで（屋外や庭で）作業する際は小動物に注意して、動物が危険にさらされることがないようにしてください。

作業後、機器は平坦で不燃性の地面の上に置いてください。着火しやすい物質（木屑、樹皮、乾燥した草、燃料など）の近くには置かないでください - 火災の危険があります！



パワーツールからは、エンジンが始動すると**有毒な排気ガス**が出ます。このガスは、無臭で目に見えないことがあり、未燃焼の炭化水素とベンゼンを含んでいることがあります。室内や換気状態の悪い場所では、絶対にエンジンをかけないでください - 触媒コンバータが装着されている機種でも同様です。

溝、くぼ地、あるいは狭い場所で作業する時には、適切な換気を確保してください - **中毒による命の危険があります！**

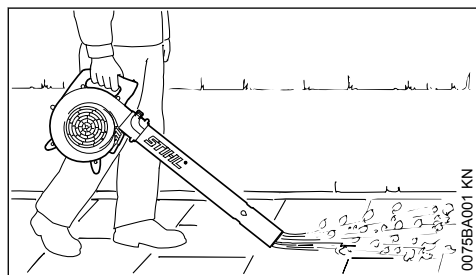
気分が悪い、頭痛、視覚障害（視野狭窄など）、聴覚障害、めまい、注意散漫などの状態になった場合は、作業を即座に中止してください。これらの症状は、作業場に過度に高濃度の排気ガスが存在する場合に、発生することがあります - **事故の恐れがあります！**

作業中に埃が巻き上がると、健康に被害が及ぶ恐れがあります。塵埃が発生する場所では、防塵マスクを着用してください。

本機の使用中およびその近くでは喫煙しないでください－火災の危険があります！燃料システムから引火性のガソリン蒸気が漏れる恐れがあります。

本機に設計強度を超える異常な負荷（激しい衝撃や落下など）がかかった場合は、作業を続ける前に操作の安全性を確保できる状態にあることを必ず確認してください－「始動前」の項目も参照してください。特に、燃料システムに漏れがないことを確認し、安全装置が正しく機能していることを確認してください。安全な状態にない機器は絶対に使用しないでください。ご不明な点がございましたら、サービス店にお問い合わせください。

2.10 ブロワーの使用



このブロワーは片手操作用です。操作者が右手でコントロールハンドルを持って持ち運ぶ必要があります。

パワーツールは手で常にしっかりと保持してください。

屋外や庭でブロワーで作業する際は小動物に注意してください。

必ずゆっくり前進しながら作業してください。ブロワーチューブの出口領域を常に監視してください。後退しないでください。顕く危険があります！



警告

本機は必ずブロワーチューブが完全に取り付けられた状態で使用してください－怪我をする恐れがあります！

2.11 作業方法

清掃時間を短縮するために、清掃作業を開始する前に、熊手や箒でゴミを除去しやすくしておきます。

- － 必要に応じて、掃除する範囲の表面に水を撒き、埃が立ちすぎないようにします。

- － 見物人（特に子ども）、ペット、開いている窓、洗車したばかりの自動車の方向にゴミを吹付けないようにしてください。それらの状況では、特に注意してください。
- － 吹き寄せたゴミは、ゴミ箱に捨てます－隣人の敷地に吹き出したりしないでください。
- － 本機は、他の人に迷惑がかかることのある早朝、深夜、昼食休憩時間などを避け、道理にかなった時間帯にご使用ください。地域の休憩間隔に関する規制を順守してください。
- － 作業実施に必要な最低限度のエンジン回転数で、ブロワーをご使用ください。
- － 作業開始前にお使いのブロワーの状態を点検します。特にマフラー、エアー インテークおよびエアー フィルターに注意してください。

2.12 振動

チェンソーを長時間使用した場合には、振動の影響により手の血行不良が生じることがあります（「白ろく病」）。

以下をはじめ、多くの事柄が影響するため、一般的な使用時間の設定は不可能です。常に各国の安全規制、基準、条例をお守りください。

以下の対策をとると使用時間を延長できます：

- － 手の防護（暖かい手袋）
- － 休憩を取りながら作業する

以下の場合には使用時間を短くします：

- － 血行不良の特殊体質（症状：指が頻繁に冷たくなる、指が疼く）。
- － 低い外気温。
- － ハンドルを握む力の強さ（握む力が強いと血行が低下します）。

機械を日常的に長時間使用したり、該当する症状（指のしびれ等）が繰り返し発症する時は、医師による診断をお薦めします。上記のいずれかの症状が現れたら（指が疼くなど）、医師にご相談ください。

2.13 整備と修理

定期的には本機を整備してください。取扱説明書に書かれている整備や修理だけを行ってください。その他すべての作業は STIHL サービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けた STIHL サービス店のみに依頼されることをお勧めします。STIHL サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。これに関して不明な点がある場合は、STIHL サービス店へお問い合わせください。

当社では STIHL 純正の交換部品のご使用をお勧めします。これらは、お客様の機種およびご使用になる性能要件に合わせて、特別に設計されています。

ケガの危険を回避するため、本機の保守、修理、または掃除を実行する前に、**エンジンを必ず切ってください**。 - 例外: キャブレターおよびアイドルリング回転数の調整時は例外です。

スパーク プラグ ターミナルまたはスパーク プラグを外した状態でスターターを操作する場合は、スライド コントロール/停止スイッチを **STOP** または **0** の位置にしてください。火花が飛んで**火災を起こす危険**があります。

火災の危険性を回避するため、火気の近くで修理したり、保管したりしないでください。

燃料フィルター キャップにもれがないか定期的に点検してください。

当社で承認されたタイプで、支障なく作動するスパーク プラグだけを使用してください。 (「技術仕様」の項を参照)

イグニッション ケーブルに異常がないこと (良好な絶縁状態、接続の確実性)を確認してください。

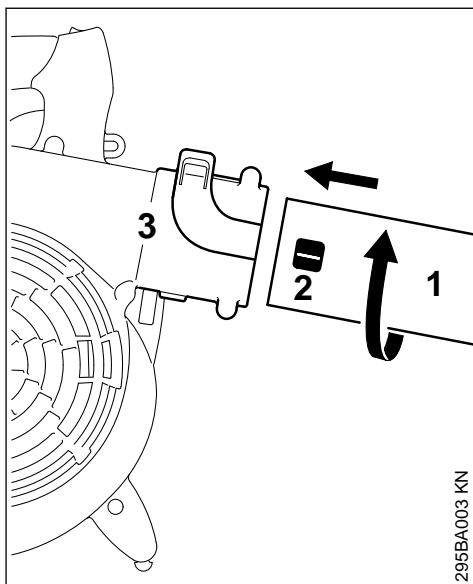
マフラーに異常が無いことを確認してください。

火災の危険や聴覚障害を避けるために、破損したマフラーを取付けたまま、あるいはマフラーがないまま作業しないでください。 -

高温のマフラーに触れて、**火傷**しないようにしてください。

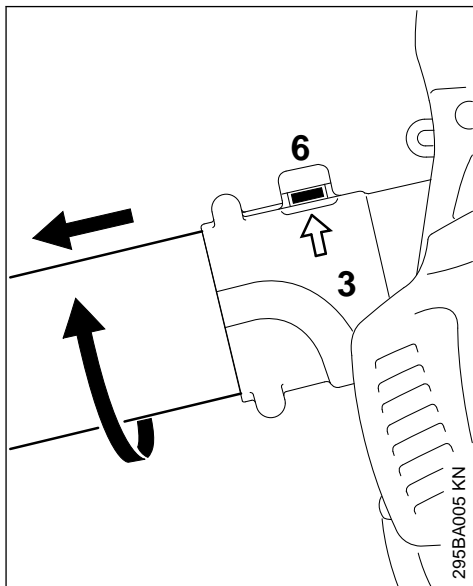
3 ブロワーマシンの組み立て

3.1 ブロワーチューブの取付け



▶ ブロワーチューブ (1) の突起 (2) をファン ハウジング接続ピース (3) に差し込み、矢印の方向へ回してカチッとロックします。

3.2 ブロワーチューブの取外し



- ▶ 適当な工具を用いて、ファンハウジング接続ピース (3) のタブ (6) を押し上げます。
- ▶ ブローチューブを矢印の方向へ回して、抜き取ります。

4 燃料

エンジンには、ガソリンとエンジンオイルの混合燃料が必要です。



警告

燃料に直接触れたり、ガソリンの気化ガスを吸い込んだりしないよう注意してください。

4.1 STIHL MotoMix (モトミックス)

STIHL 社では、STIHL MotoMix の使用をお勧めしています。このあらかじめ混合された燃料はベンゼンや鉛を含まず、高オクタン価を特徴とし、常に適切な混合比をもたらします。

STIHL MotoMix には、エンジン寿命を最長化するために STIHL HP Ultra 2 ストロークエンジンオイルが使用されています。

MotoMix は、販売されていない市場もあります。

4.2 燃料の混合

注記

仕様と異なる不適切な燃料や混合比を用いると、エンジンに重度の損傷が生じるおそれがあります。低品質のガソリンやエンジンオイルは、エンジン、ガスケット、燃料ライン、燃料タンクを損傷させることがあります。

4.2.1 ガソリン

オクタン価が 90 以上の**高品質ガソリン**だけを使用してください。無鉛、有鉛は問いません。

アルコール濃度が 10% を超えるガソリンは、手動調整可能キャブレター付きエンジンではエンジン性能を低下させるおそれがあるため、そうしたエンジンには使用しないでください。

M-Tronic 搭載エンジンは、アルコール濃度が 27% までのガソリン (E27) を使用して本来の性能を発揮します。

4.2.2 エンジンオイル

ご自身で燃料を混合する場合は、STIHL 2 ストロークエンジンオイルまたは JASO FB、JASO FC、JASO FD、ISO-L-EGB、ISO-L-EGC あるいは ISO-L-EGD に準拠する他の高性能エンジンオイルを使用してください。

機械が寿命に達するまでの全期間で排ガス基準が満たされるよう、STIHL 社では STIHL HP

Ultra(ウルトラ) 2 ストロークエンジンオイルまたは同等の高性能エンジンオイルの使用を指定しています。

4.2.3 混合比率

1:50 の比率で STIHL 2 ストロークエンジン オイルとガソリンを混合してください (オイル 1 に対してガソリン 50)。

4.2.4 例

ガソリン量	STIHL 2 ストロークエンジンオイル 1:50
リットル	リットル (ml)
1	0.02 (20)
5	0.10 (100)
10	0.20 (200)
15	0.30 (300)
20	0.40 (400)
25	0.50 (500)

- ▶ 承認されている安全な燃料容器にオイルを注入してからガソリンを加え、完全に混ぜ合わせます。

4.3 混合燃料の保管

燃料は承認されている安全な燃料容器に入れ、乾燥して涼しく、安全な、照明や太陽光から保護された場所に保管します。

混合燃料は時の経過に伴って劣化します - 数週間分の必要量だけを混合してください。混合燃料は 30 日以上保管しないでください。照明、太陽光、低温、高温にさらすと、混合燃料はより短時間で使用できなくなることがあります。

STIHL MotoMix は、問題なく最長 5 年間保管することができます。

- ▶ 混合燃料が入った容器(携行缶)をよく振ってから給油してください。



警告

携行缶の内圧が高まっている可能性があるため、キャップは慎重に開けてください。

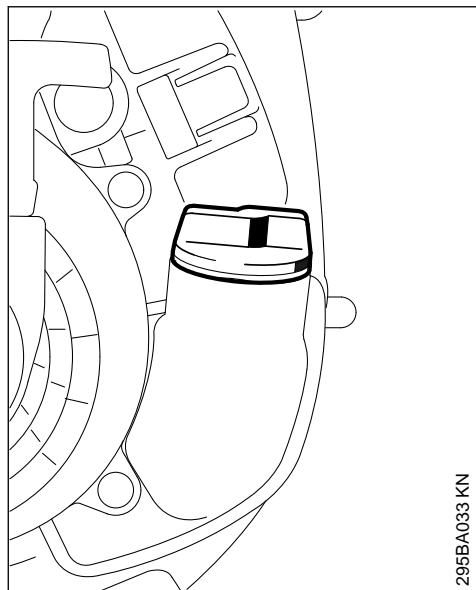
- ▶ 混合燃料を保管する燃料タンクや容器は、ときどき徹底的に清掃してください。

残存する燃料や清掃に使用した液体は、規制に従って環境に害を及ぼさないように廃棄してください!

5 給油



5.1 準備



- ▶ 給油する前に、汚れがタンクの中に入るのを防ぐために、タンクキャップとその周囲を清掃してください。
- ▶ タンクキャップが上を向くように本機を置いてください。

当社では給油用にスチール給油システム (特殊アクセサリ) の使用をお勧めしています。

5.2 燃料の補充

給油時は、燃料をこぼしたり、あふれさせたりしないでください。

- ▶ キャップを開けます。
- ▶ 燃料を補充します。
- ▶ キャップを閉じます。



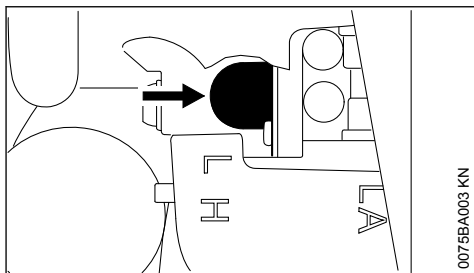
警告

給油の後は、タンクキャップを手でできるだけしっかりと閉めてください。

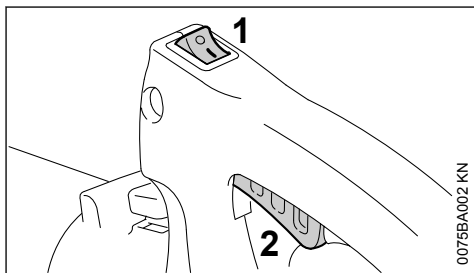
6 エンジンの始動と停止

6.1 エンジンの始動

- ▶ 安全注意事項を守ってください。



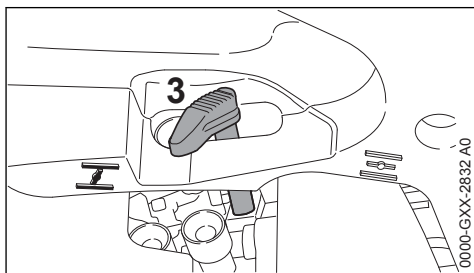
- ▶ 燃料ポンプを最低 5 回押します - ポンプにすでに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。



- ▶ 停止スイッチ (1) を運転位置 I に合わせます。

チョークレバーの設定

エンジンが冷えている場合



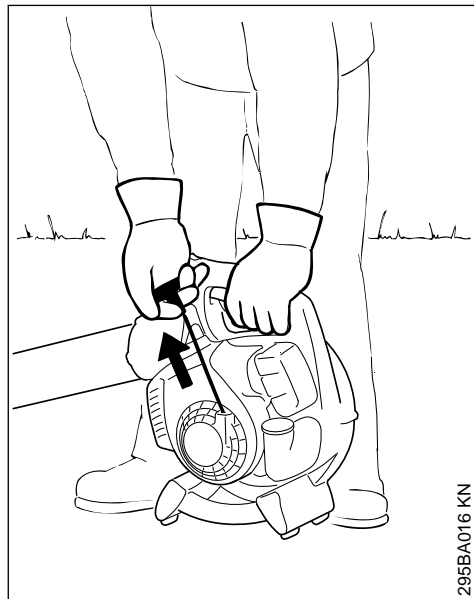
- ▶ チョークレバー (3) を **I** の位置に合わせます。
- ▶ スロットルトリガー (2) を引き、そのまま保持します。
- ▶ エンジンが初爆するまで、スターターロープを引きます。
- ▶ チョークレバー (3) を **II** の位置に合わせます。
- ▶ スロットルトリガー (2) を引き、そのまま保持します。
- ▶ エンジンがかかるまで始動操作を続けます。

エンジンが暖まっている場合

エンジン始動後、完全に暖機されていない場合もこの位置を使用します。

- ▶ チョークレバー (3) を Ⅲ の位置に合わせます。
- ▶ スロットルトリガー (2) を引き、そのまま保持します。
- ▶ エンジンがかかるまで始動操作を続けます。

始動操作



295BA016 KN

- ▶ 安定するように本機を地面に置きます。
- ▶ 安定した足場を保ちます: 左手をハウジングに当てて機械をしっかり保持し、地面に押し付けます。
- ▶ 右手でスターターグリップを握ります。
- ▶ スターターグリップをゆっくりと引き、かみ合った感じがしたら素早く、勢い良く引っ張ります。

注記

スターターロープは最後まで引き出さないでください - 切れるおそれがあります。

- ▶ スターターグリップを急に放さないでください。手を添えてハウジングにゆっくりと巻き込むと、スターターロープは適切に巻き込まれます。

6.2 エンジンの停止

- ▶ 停止スイッチを 0 の位置に合わせます。

6.3 始動に関するその他の注意事項

6.3.1 暖機運転中または加速中にエンジンが停止する場合

- ▶ 始動手順を繰り返します - 「エンジンが冷えている場合」を参照。

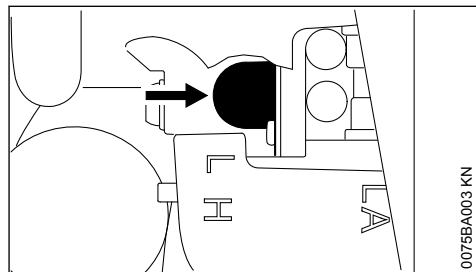
6.3.2 エンジンが始動しない場合

- ▶ すべての設定 (チョークシャッター、停止スイッチが運転位置 I にセットされている) が適正か確認します。
- ▶ 始動手順を繰り返します。

6.3.3 依然としてエンジンが始動しない場合

- ▶ 停止スイッチを 0 の位置に合わせます。
- ▶ スパークプラグを取り外します - 「スパークプラグ」を参照してください。
- ▶ スパークプラグを乾かします。
- ▶ 燃焼室を換気するためにスターターロープを数回引っ張ります。
- ▶ スパークプラグを再び取り付けます - 「スパークプラグ」を参照してください。
- ▶ 停止スイッチを運転位置 I の位置に合わせます。
- ▶ チョークレバーを Ⅲ - の位置に合わせます - エンジンが冷えている場合も同様です。
- ▶ スロットルトリガー (2) を引き、そのまま保持します。
- ▶ エンジンを再始動します。

6.3.4 燃料タンクが完全に空になるまで運転してから再給油した場合

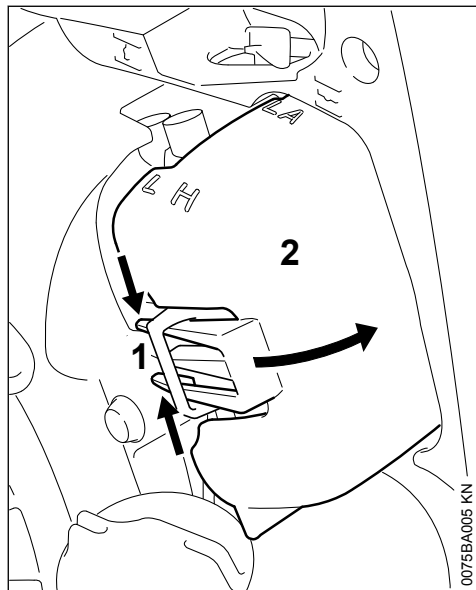


0075BA003 KN

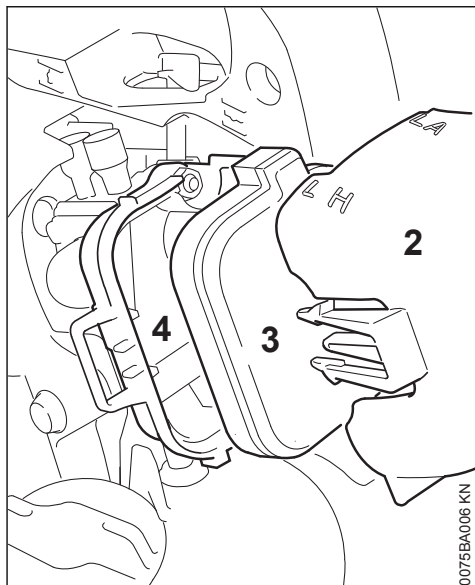
- ▶ 燃料ポンプを最低 5 回押します - ポンプにすでに燃料が充填されている場合でも、同様の操作を行います。
- ▶ エンジン温度に応じてチョークレバーの位置を設定します。
- ▶ エンジンを再始動します。

7 エアフィルターの掃除

7.1 エンジンの出力が著しく低下した場合



- ▶ チョークレバーを **1** の位置に動かします。
- ▶ タブ (1) を強く握ります。
- ▶ フィルターカバー (2) を回して開き、取り外します。
- ▶ フィルターの周りに付着した汚れを取り除きます。



- ▶ フィルター (3) をフィルターハウジング (4) から取り外します。
- ▶ 新品を取り付けます。一時的な方法: フィルターを洗浄します。

損傷した部品は交換してください。

- ▶ フィルター (3) をフィルターハウジング (4) に取り付けます。
- ▶ フィルターカバー (2) をはめ込んで取り付けます。

8 キャブレターの調整

8.1 基本情報

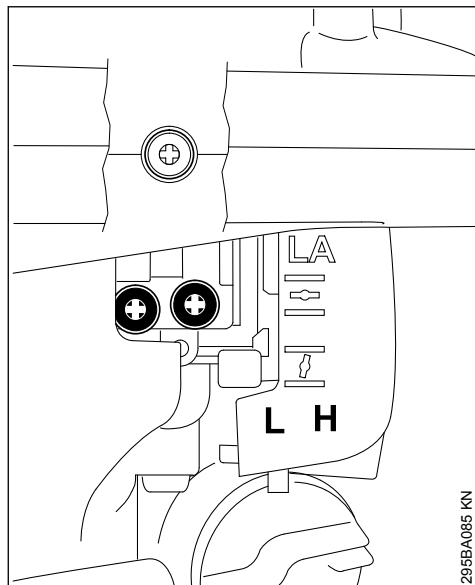
キャブレターは工場出荷時に標準設定されています。

この設定で、ほとんどの運転状況で最適な混合気が得られます。

8.2 準備

- ▶ エンジンを停止します。
- ▶ エアフィルターを点検し、必要場合は掃除あるいは新品と交換します。
- ▶ マフラーのスパークアレスタースクリーン (すべてのモデルには該当しない、国によって異なります) を点検し、必要場合は掃除あるいは新品と交換します。

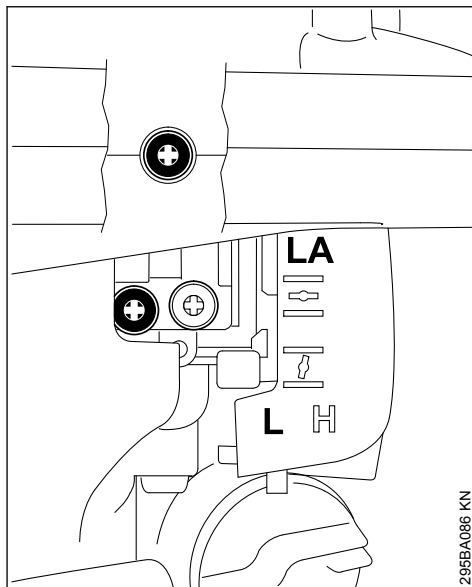
8.3 標準設定



- ▶ 高速調整スクリュー (H) を反時計方向に止まるまで回します (最高でも 3/4 回転)。
- ▶ 低速調整スクリュー (L) を時計方向に、止まるまで回します。その後、3/4 回転戻します。

8.4 アイドリング回転の調整

- ▶ 標準設定を行います。
- ▶ エンジンをかけて暖機します。



8.4.1 アイドリング回転中にエンジンが停止する

- ▶ アイドリングスピード調整スクリュー (LA) をエンジンがスムーズに作動するまで時計回りに回した後、1/4 回転戻します。

8.4.2 アイドリング回転が不安定で、加速状態が悪い場合は (LA スクリューの設定を修正した後も)

アイドリング設定が薄すぎます :

- ▶ 低速調整スクリュー (L) を最高でも止まるまで、スムーズに作動し滑らかに加速するようになるまで、反時計回りに慎重に回します。

8.4.3 アイドリング回転が不安定で、エンジン回転が低下する

アイドリング設定が濃すぎます :

- ▶ 低速調整スクリュー (L) を、エンジンがスムーズに作動し滑らかに加速するまで、時計回りに回します。

低速調整スクリュー (L) を調整する度に、大抵の場合は、アイドリングスピード調整スクリュー (LA) を設定変更する必要があります。

8.5 高地で作業する場合の微調整

エンジン性能が充分でない場合は、わずかな調整が必要になる場合があります :

- ▶ 標準設定を行います。
- ▶ エンジンを暖機運転します。

- ▶ 高速調整スクリュー (H) を僅かに時計回り (薄くする) に回します - 止まるまでの範囲で回します。

注記

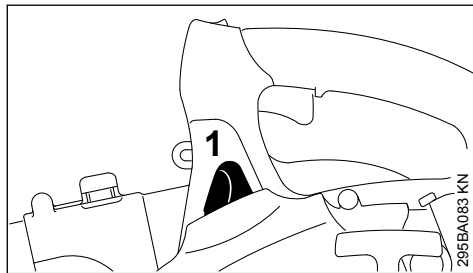
高地から降りてきた後は、キャブレターを標準設定に戻します。

設定を薄くしすぎると、潤滑オイルの不足と過熱により、エンジンが破損する危険があります。

9 スパーク プラグ

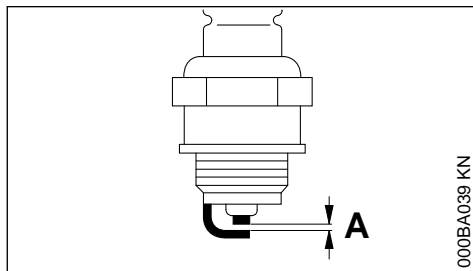
- ▶ エンジンの出力が低下したり、始動しにくくなったりアイドリングが不安定になったら、先ずスパークプラグを点検してください。
- ▶ 約 100 時間運転後には新品のスパークプラグと交換してください - 電極が極度に焼損している場合はそれよりも早く交換してください。スチール社が承認した、雑音防止スパークプラグのみをご使用ください - 「技術仕様」の項を参照してください。

9.1 スパークプラグの取り外し



- ▶ スパークプラグターミナル (1) を抜き取ります。
- ▶ スパークプラグを緩めます。

9.2 スパークプラグの点検

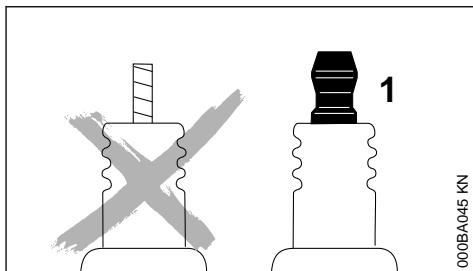


- ▶ 汚れたスパークプラグをきれいにします。
- ▶ 電極ギャップ(A)を点検して、必要場合は調整します - 数値は「技術仕様」の項を参照してください。

- ▶ 以下のような、スパークプラグが汚れる原因を排除してください。

原因：

- エンジンオイル混合量の過多
- エアフィルター汚れ
- 劣悪な使用環境

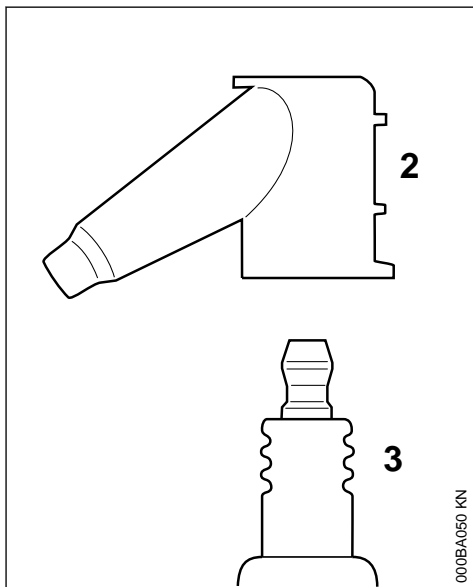


警告

アダプターナット (1) が緩んでいるか、外れている場合はアークが発生することがあります。発火または爆発が起きやすい環境下で作業を行うと、実際の火災または爆発が発生する恐れがあります。この場合、作業員が重傷を負ったり、建物に損傷を与えたりする可能性があります。

- ▶ 抵抗入タイプのスパークプラグを使用し、アダプターナットをしっかりと締め付けてください。

9.3 スパークプラグの取り付け



- ▶ スパークプラグ (3) をシリンダーにねじ込み、ターミナル (2) をしっかり押し込んで取り付けます。

10 エンジンの動作

エアー フィルターを掃除してキャブレターを適切に調整しても、エンジンの動作が不十分な場合は、マフラーが原因の可能性があります。

マフラーが汚れていないか (カーボンで詰まる)、スチール サービス店で点検してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。

- ▶ 換気の良い場所で燃料タンクを空にし、洗浄します。
- ▶ 燃料は、地域の環境規制に従って処分してください。
- ▶ 手動燃料ポンプが装着されている場合: 手動燃料ポンプを最低 5 回押してください。
- ▶ エンジンを始動し、エンジンが停止するまでアイドリングを続けます。
- ▶ 特にシリンダーフィンやエアーフィルターに注意して、機械を丁寧に清掃してください。
- ▶ 機械を乾燥した安全な場所に保管してください。(子供など) 承認されていない人が使用しないように確保してください。

11 機械の保管

機械を約 30 日以上使用しない場合

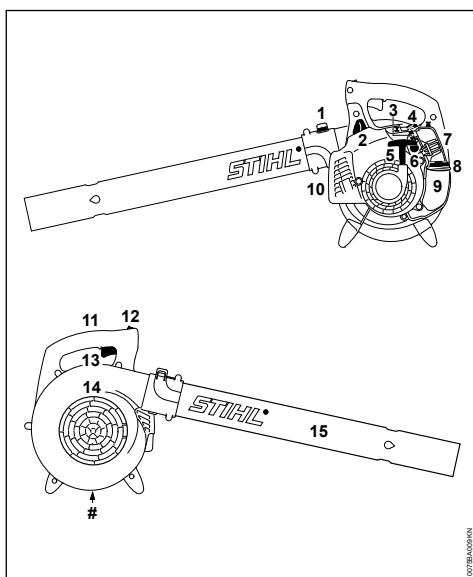
12 整備表

以下の整備周期は通常の作業条件を対象としていることに注意してください。毎日の作業時間が長い場合、あるいは作業条件が悪い場合 (非常にほこりの多い場所など) は、それに応じて、提示された間隔よりも短くしてください。		毎 日	毎 週	毎 月	毎 2 カ 月	毎 3 カ 月	毎 6 カ 月	毎 年
作業項目	作業終了後	毎 日	毎 週	毎 月	毎 2 カ 月	毎 3 カ 月	毎 6 カ 月	毎 年
機械本体	目視検査 (状態、摩耗、漏れ)	x		x				
	掃除		x					
コントロールハンドル	作動検査	x		x				
エアーフィルター	掃除					x		x
	交換						x	x
手動燃料ポンプ	点検	x						
	修理は STIHL サービス店に依頼してください ¹⁾						x	
燃料タンク内のピックアップボディ	点検					x		
	交換は STIHL サービス店に依頼してください ¹⁾				x		x	x
燃料タンク	掃除					x		x
キャブレター	アイドリング設定の点検	x		x				
	アイドリング調整							x
スパークプラグ	電極ギャップの調整					x		
	約 100 運転時間ごとに交換							
冷却風吸入部	掃除							x

¹⁾ STIHL では正規の STIHL サービス取扱店をお勧めします。

以下の整備周期は通常の作業条件を対象としていることに注意してください。毎日の作業時間が長い場合、あるいは作業条件が悪い場合(非常にほこりの多い場所など)は、それに応じて、提示された間隔よりも短くしてください。		高負荷	毎1日	毎1日	毎1日	毎1日	毎月	毎月	12ヵ月毎	故障の場合	整備の場合	必要な場合
すべてのスクリューとナット(調整スクリューを除く)	締め直し											X
安全ラベル	交換										X	

13 主要構成部品



- 1 タブ
- 2 スパークプラグターミナル
- 3 キャブレター調整スクリュー
- 4 チョークレバー
- 5 スターターグリップ
- 6 手動燃料ポンプ
- 7 フィルターハウジング
- 8 タンクキャップ
- 9 燃料タンク
- 10 マフラー

11 コントロールハンドル

12 スイッチ

13 スロットルトリガー

14 インテークスクリーン

15 ブローチューブ

機械番号

14 技術仕様

14.1 エンジン

単気筒 2 ストロークエンジン

排気量:	27.2 cm ³
シリンダー径:	34 mm
ピストンストローク:	30 mm
アイドリング回転数:	2800 rpm

14.2 イグニッションシステム

エレクトロニクマグネットイグニッション

スパークプラグ (雑音防 止):	Bosch WSR 6 F、 NGK BPMR 7 A
電極ギャップ:	0.5 mm

14.3 燃料システム

燃料ポンプ搭載全方向ダイヤフラム式キャブレター

燃料タンク容量:	430 cm ³ (0.43 l)
----------	------------------------------

14.4 ブロー性能

吹き出し力:	13 N
風速:	60 m/s
風量:	700 m ³ /h
最大風速:	71 m/s

14.5 重量

燃料なし:	3.6 kg
-------	--------

¹⁾ STIHL では正規の STIHL サービス取扱店をお勧めします。

14.6 騒音・振動数値

音響値・振動値は、アイドリング回転数と最大定格回転数の比率 1 : 6 で測定したものです。

振動に関する事業主への指令 2002/44/EC の遵守の詳細については、

www.stihl.com/vib をご覧ください。

14.7 DIN EN 15503 に準拠した音圧レベル L_{peq}

BG 50: 92 dB(A)

14.8 DIN EN 15503 に準拠した音響出力レベル L_w

BG 50: 105 dB(A)

14.9 DIN EN 15503 に準拠した振動値 $a_{hv,eq}$

右ハンドル
BG 50: 10.5 m/s²

14.10 排気ガス

EU 型式認定手順で測定された CO₂ 値は、以下に記載されています -

www.stihl.com/co2

(製品ごとの技術データ)。

CO₂ 測定値は、代表的なエンジンを実験室の環境下で標準的な試験手順に従って測定した結果であり、特定のエンジンの性能を明示的、暗示的に保証する数値ではありません。

適用される排気ガス規制の要件は、本書に記載されている方法で機械を使用し、整備することによって満たされます。いかなる方法であれエンジンを改造すると、使用許可は無効になります。


15 整備と修理

本機を使用する方が実施できる保守および整備作業は、本取扱説明書に記述されていることだけです。それ以外の修理はすべてサービス店に依頼してください。

当社では整備や修理を、認定を受けたスチール サービス店のみに依頼されることをお勧めします。スチール サービス店には定期的にトレーニングを受ける機会が与えられ、必要な技術情報の提供を受けています。

修理時には、当社が本機への使用を承認した、または技術的に同等な交換部品だけをご使用ください。高品質の交換部品のみを使用して、事故および本機の損傷を回避してください。

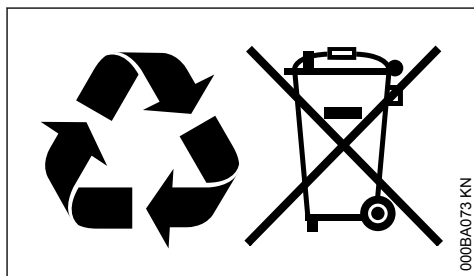
当社ではスチール オリジナルの交換部品のご使用をお勧めします。

スチール純正部品には、スチール部品番号、**STIHL** ロゴマークおよびスチール部品シンボルマーク  が刻印されています。(小さな部品では、シンボルマークだけが刻印されているものもあります。)

16 廃棄

廃棄に関する情報については、最寄りの行政機関または STIHL サービス店へお問い合わせください。

不適切な廃棄は、健康被害や環境汚染の原因になるおそれがあります。

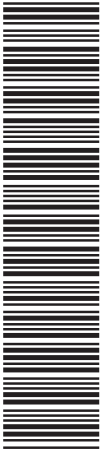


- ▶ 現地の規制に従い、パッケージを含む STIHL 製品を適切な回収場所へ持ち込み、リサイクルしてください。
- ▶ 家庭ごみと共に廃棄しないでください。

www.stihl.com



0458-425-4321-E



0458-425-4321-E